

# 同期会便り 6期(1955年3月卒)のページによろこそ!!!

- \* 同期会・クラス会など同期の仲間との集まり、地元でのご活躍等の情報をお寄せください。6期の皆さんからの寄稿をお待ちしています。
- \* 寄稿に当たっては、卒業期(或いは卒業年月)、氏名(含む旧姓)を必ずご記入ください。寄稿の宛先は：市川二中同総会事務局 住所：〒272-0825 市川市須和田2-34-1 E-mail：2chu@kde.biglobe.ne.jp

## \* 会報7号(2004年10月)から

**「六期A組のクラス会」**  
6期A組 井上富美子

六期A組のクラス会が五月十六日、市川のレストラン「ベルク」にて開かれました。受け持ちの高橋省三先生が他界されてから、早くも16年を経て、本当に久しぶりの顔合わせとなった人も多かったです。

当日出席できなかった生徒達の中にも、病床にいる人、現在リハビリにがんばっている人がいたり、栗山嘉明さんは去年までクラスのとめ役をしてくれていたのに、今年の春に亡くなるなど、クラス会に出席できた人の思いはさまざまでした。

会社勤めだった人も定年を迎えたり、自営業の人が後継者のことで悩んだり、女の人たちも、子供のことや、孫のこと等、話題はつきることがなく、昔に戻って遠慮なく、楽しいおしゃべりの花を咲かせて、時の経つのを忘れていました。趣味のこと、今やっているボランティアのことを生き生きと語る昔の友の顔に思わず見とれたり、聞きほれたり、元気をもらっ

た人も多かったようです。次は高橋先生のお墓を和泉霊園にお参りしてから、千葉あたりで集まろうか、などという声も聞かれました。デン助先生は天国で昔の生徒達の様子を見て笑っていたでしょう。

「また会う日まで元気でね」と別れを惜しみつつ、二次会を持った喫茶店の前で手を振って家路に着きました。

A組だけでなく、六期の他のクラスの人も会うことができたらしいな、と皆で話しました。(旧姓・田村)



## \* 会報14号(2011年3月)から

**6期 井上 富美子** (世話人代表)

「えっ、誰だっけ?」判らないのも無理はない! だって半世紀以上ぶりなんだもの。雪合戦で玉をぶつけ合った相手も、髪の毛が白くなったりでは当り前でしょう! あちこちで自己紹介が始まる。

「ここ何年か、同期会やって」の声が高まり、「古希を迎えた今年こそ」と重い腰を上げた。6月の同窓会総会の後で残った9人が即、世話人ととなり、日時・場所・分担当がサツと決まり、案内状を発送、猛暑をものともせずチームワークで当日まで雪崩の如く突進した。

締め切りまでに先生御三方と42名を確保して、胸ドキドキ。当日、京都から「出席します」の連絡が入るやら、「残念ながら風邪気味で」と楽しみにしていた鈴木元一先生からご欠席のお知らせも。欠席者の返信ハガキの近況を回し読みして「次は会いたいね」と言いあった。



初めての同期会 - 55年ぶりの再会 -

それぞれ世話人各自の得意な分野を受け持った。当日のオープン時刻を待った。準備もすっかり出来てお客様のご到着。佐藤(在原)先生や中村先生がお元気で、昔の同級生と見分けがつかなくて、受付前の騒ぎは大変。名札を準備して並べておくのは良いアイディアだった! 始まってしまえば昔の二中生に戻り、須和田が丘の学び舎で多感な時期を共に存した絆を感じ合ったり、素晴らしい集まりだった。

別れを惜しみつつ「遠いから」と家路につく人も、「もっと話がしたい」と2次会に出る人も、再会を約して固い握手をして、世話人は目を潤ませた。

本当にみんなに会えてよかった。この次はもっと集まるといいな...。

開催にあたり、メッセージを書いて下さった、三村武教会長と案内状などでお知恵を貸してくださった、16期の斎藤康理事にお礼申し上げます。



## \*会報 16号(2013年3月)から

### 6期 昨年に続いて 6期 井上 富美子

10月28日(日)市川の「マルシェ」で、中村樗先生と佐藤(在原)千壽子先生のご出席を頂き、30名が顔を揃えました。

40数年ぶりという仲間を見つけて、「おお、生きていたのか!」などという挨拶。

2次会はカラオケ。中学時代には予想もつかなかったような面を見せてくれる人もいたり、「今回出席出来なかった人たちも、出て来れるよい所はどこだろうね」と、話したり。

友だちに会い、無事を喜べる幸せなひと時でした。



## \*会報 18号(20015年3月)から

### 6期生「喜寿の集い」 6期 井上 富美子

喜寿

平成22年から2年毎に開いた同期生の集いも今回で4回目となりました。喜寿を祝う気持ちもあり「思い出に残る会にしたい」という皆さんの意見がありましたので、東京駅丸の内にある36階のレストラン「モナリザ」に決めました。皇居を窓から見下ろす場所で、秋晴れの9月25日午後、ランチをいただきながらしばらくの間、それぞれのテーブルで周囲の人達と思い出話に花が咲きました。

出席できた人は32名で、遠くは京都や長野からなど「〇十年振りに東京に出てきた」という人もなつかしい友と出会う、「変わらないね」「変わったじゃない、きれいになって」などと時の経つのも忘れて話し込みました。「モナリザ」の店の前で記念写真を撮り、会を閉じて二次会を全体でまとめて開くことが出来ずに、小グループに分れ再会を約束した後、「今回来られなかった方達とこの次はぜひ集まれるように幹事さん頑張ってくださいね」と言われ、それぞれの帰路に着きました。やはり、市川近辺の便利のよさが第一希望のようでした。

## \*会報 20号 (2017年) から



### “階段を見たら、有難うと言おう!” 6期 井上 富美子

6期同期会は、平成22年以来1年おきに開催しております。第3回の平成26年11月22日(土)に於いて、いちかわおいどんーは、参加者25名でした。

中村樗、佐藤千壽子先生のお元気なお顔を久しぶりに拝見する人もおり、乾杯までのひと時は大賑やかでした。両先生の若々しさに脱帽した6期生は、乾杯の後で次々に発言を希望して立ち上がると、それぞれの信じる健康法を話し始め、「階段を見たら、有難うと言って上げれ」とか、小声で「解かってはいるのだけ」と言う人もあり、楽しく食事をしながら思い出話に進んでいきました。

「出席簿でコッソリとやられたよ」や「〇〇さんの通る道をわざわざ遠回りして帰ったよ」など、60年以上経って告白!? する男性もあり、思い出話に花が咲き、予定の時間はあっという間に過ぎてしまいました。

名残を惜しんで2次会へ真間駅近くの飾らない店に入って、カラオケと尽きない話に2時間ほどを過ごし、再会を約束して家路につきました。



\*会報 22号(2019年3月)から



## 卒業式は校庭で風の中でした 6期 井上 富美子

6期生の集いは5回目、平成30年10月26日に山崎企業年金会館のレストランで行われました。齢80の坂を目前に元気に集まった一同ですが、奇しくも昭和30年の卒業です。私達の入学時から新校舎で勉強が出来たのですが、楽しい3年間の中学生生活を終えて、卒業する時はまだ講堂はなく、校庭に椅子を並べて式が行われました。その後で二中を訪ねる度に、講堂が建ち、運動場が整い、観覧スタンドが出来ているのを見て、母校が立派になっていくことに心の底から喜びを感じたものでした。皆の思い出の中に忠霊塔

や、雨降りや雪の日にツルツル滑った裏口の坂道などのことが、その時の先生方との思い出と重なって、話は尽きません。毎回参加して下さる中村樺先生と佐藤千寿子先生とは、もう先生と生徒の垣根をとうに超えてしまったかのように、どうしたら先生達のように健康で年齢を重ねられるかとか、お話しして頂いたり、自分達の家族の問題などを話したりするうちに、2時間と決めていた予定が瞬く間に過ぎてしまいました。

健康に留意してまた会いましょう、今回何かの都合で来られなかった方もぜひ次回は、お顔を見せて頂きたいと言いながら散会しました。